

いずれか1つを○で囲む

アスリート型：自らの競技レベルを上げたい

コーチング・教員志望型：スポーツ指導者・体育教員を目指したい

スポーツ・サポート型：マネージャーやトレーナーなどでスポーツをサポートしたい

スポーツ探求型：とにかくスポーツを学びたい、より深く研究・探求したいなど

●ポイント

自己アピールは、自慢話にならないよう、具体的な活動経験（苦労して達成したこと）に基づいて書き、入学後・将来は、4つの型の中で選択したものと、矛盾がないように注意すること。特に、スポーツ活動の中で、どのような力を身につけ、それをどう社会に出てから活かすのかが具体的に書けると評価が高くなるだろう。

【健康スポーツ学科】A4 3枚

1枚目

学歴・特技・趣味・得意科目・資格免許

2枚目

活動状況・実績報告

高校3年間における活動状況・実績について

1. スポーツ・ダンス・文化系の活動（学外での活動も含む）
2. 学校での課外活動（生徒会、委員会活動等）
3. 社会活動（ボランティア活動、地域社会活動等）

《ニチジョの魅力》①～⑤各1行（箇条書き）

2枚目

《自己推薦》横書き 11行

あなたがこれまでの活動・取り組み・経験などから学んだことを書いてください。また、あなたの資質・性格・能力・特技から、あなた自身をアピールしてください。

《志望理由》横書き 15行

あなたが本学科で学びたいこと、取り組みたいことは何ですか。また、あなたは本学科で学ぶことを、卒業後どのように生かしていきたいと考えていますか。

●ポイント

《ニチジョの魅力》は、箇条書きで書けと指示があるが、面接で説明できるように、内容を深く考えた上で書き込むこと。《自己推薦》は、資質・性格・能力・特技を全て書くというよりも、短いエピソードなどを書いてそれが伝わるようにするとよい。《志望理由》は、健康スポーツ学科の具体的な授業内容に触れておきたい。

【子ども運動学科】A4 4枚

1枚目

学歴・資格免許

2枚目

活動状況・実績報告（高校3年間における活動状況・実績について

1 学校での活動

2 クラブ活動（学外での活動も含む）

3 社会活動（ボランティア活動、地域社会活動等）

4 その他（1.2.3以外で特筆すべきこと）

《特技・趣味など》

3枚目

《自己推薦》横書き 30行

あなたがこれまでに取り組んできた事柄を中心に、自己PRしてください。

4枚目

《志望理由》横書き 30行

あなたがこれから取り組んでいきたい事柄を中心に、本学を志望した理由を記述してください。

●ポイント

自己推薦と志望理由の指示に、わざわざ下線を引くということは、「これまで」の過去の話と、「これから」の未来の話を、ゴチャゴチャにしていた人が多いということが想像できる。もちろん、「中心に」とあるので、多少混ざってもよいが、できる限り2つの内容が被らないように注意して書くことが大切である。

◆面接試験の形式とポイント

【スポーツ科学科】

・エントリーシートに基づく口頭プレゼンテーション（3分程度）

・個人面接（10分程度）

過去の質問例（聞き取り）

- ・入学後も競技を続けるか
- ・部活動とクラブチームの違い
- ・コーチ、顧問から言われた一番厳しい言葉は など

●ポイント

口頭プレゼンテーションは、小論文の代わりに2023年から実施。エントリーシートで選択した4つの型に応じた内容で、ホワイトボード、タブレット、資料等は用いずに実施する。体育進学センターからの受験者がいなかったため、最新の内容は、調査中。

【健康スポーツ学科】 面接官2名 時間約5分

・個人面接

過去の質問例（聞き取り）

- ・自己PR
- ・スポーツと健康の関連性
- ・親は日女をどのように思っているか など

●ポイント

健康スポーツ学科の面接では、人が幸せに生きていくためのスポーツとの関わり方を考えて答えられるようにしておく必要がある。特に、高齢者、障がい者のスポーツやヘルスプロモーションについての知識を身につけ、受け答えに関しては、ハキハキと大きな声で、明るく元気な印象を与えられるように準備しておくこと。

【子ども運動学科】 面接官2名 時間約5分

・個人面接

過去の質問例（聞き取り）

- ・自己PR（長所と短所）
- ・どのような保育士になりたいか
- ・家事で、手伝っていることは？ など

●ポイント

子どもと踊ったり、歌ったり、遊んだりすることができる資質があるか、将来、子どもたちの指導者として、学び続ける意志があるかどうかという視点で質問される。明るい表情と丁寧な言葉遣いを心がけること。なお、この他、この学科では、「絵本の読み聞かせ」が課されるので、朗読のトレーニングが必要となる。

◆小論文試験の形式とポイント

【健康スポーツ学科】【子ども運動学科】

※ 健康スポーツ学科の場合は、30分程度の講義を受けた後、それを踏まえて小論文を書く。

※ 子ども運動学科の場合は、60分間で800字程度の小論文を書く。

原稿用紙は、横書き 800字程度 1行20マス

小論文例（2022年 総合型I期）

現在の日本社会において、身体活動不足の人が多いのはなぜか、そして身体活動不足の状態を改善するには、どのような工夫や対策が必要だと思うか、それぞれ年代別（子ども、青少年、成人）に考察しなさい。

●出題のねらい（大学発表）

健康スポーツを学ぶ上で基盤となる、現代日本人が身体活動不足に陥っている理由としその改善策について、年代別に論じることが出来るかどうかを評価するものです。講義の内容を理解した上で、自らの知識や経験も踏まえて明瞭かつ具体的に説明していること、年代別に論点を整理して考察していること、日本語表現と論理展開が適切であることが求められます。

●ポイント

小論文の課題は、各学科の専門分野に関わるテーマになるので、学科ごとの学びの内容をチェックしておきたい。スポーツ健康学科は、保健体育教科書の項目を中心に、スポーツと健康の関係を様々な角度から論じられるようにする。子ども運動学科は、体力低下問題や外遊びの重要性について論じられるように準備しておきたい。

総合型選抜の配点 100点満点

	書類 スポーツ歴含む	プレゼン	面接	小論	ダンス創作力 絵本読み聞かせ
スポーツ科学	50	50			
スポーツ科学 (アスリート)	80	20			
ダンス	10	10	30		50
健康スポーツ	20		40	40	
子ども運動	20		20	40	20

●ポイント

書類の配点が高いスポーツ科学科、ダンス創作力の配点の高いダンス学科は、これまで積み重ねてきた経験が大きく合否を左右する。これに対し、面接や小論文を中心に、バランスよい配点になっている健康スポーツ学科、子ども運動学科は、対策を講じるかどうかによって、大きな差がつくと考えられる。